

Dialogue 5 Saying sorry - あやまる -

ダイアログの和訳と解説

口語訳

Roles: Julie= J, Kei= K

Julie was late for the English club meeting she was supposed to come to.

J: ①I'm sorry I'm late!

K: ②What happened?

J: ③Oh, I took the wrong train. ④I'm so sorry.

K: ⑤That happens. ⑥But you could have called us.

J: ⑦I wanted to, but I didn't know the number.

K: ⑧Oh, I'm sorry! ⑨I should have told you the number.

J: ⑩It's not your fault. ⑪Anyway, I should have been more careful. ⑫I have to apologize to all of you. ⑬I have kept you waiting for half an hour.

K: ⑭That's all right. ⑮We had fun talking with each other.

J: ⑯I'm glad to hear that.

K: ⑰OK, then, let's get started.

ジュリーは来るはずだった英語クラブの集まりに遅れてしまいました。

ジ: ①遅くなってごめんなさい!

ケ: ②どうしたの

ジ: ③ちがう電車に乗っちゃったの。④ほんとうにごめんなさい。

ケ: ⑤そういうこともあるさ。⑥でも電話をくれればよかったのに。

ジ: ⑦かけたかったんだけど、電話番号を知らなかったから。

ケ: ⑧ああ、ごめんよ! ⑨電話番号を教えてあげとけばよかったね。

ジ: ⑩あなたのせいじゃないわ。⑪どっちにしても、私がもっと気をつけていればよかったんだから。⑫みんなにおわびを言わなくちゃ。

⑬三十分も待たせちゃって。

ケ: ⑭気にしないでいいよ。⑮おしゃべりしてて楽しかったから。

ジ: ⑯それならよかった。

ケ: ⑰よし、じゃあ始めようか。

☆ 謝罪する表現

⑧I'm sorry! (ごめんなさい!)

⑫I have to apologize to all of you.

(みんなにおわびを言わなくちゃ。)

☆ おわびの気持ちを強調したい場合:

so, really, very, deeply などをつけて、

④I'm so sorry. (ほんとうにごめんなさい。)

☆ 謝らなければならない理由を付け加えたい場合:

① I'm so sorry I'm late.

(遅くなってごめんなさい。)

これは I am sorry that I am late. の簡略な形です。

③Oh, I took the wrong train. ④I'm so sorry.

(ちがう電車に乗っちゃったの。ほんとうにごめんなさい。)

Target Expressions

—謝罪の表現—





Kei's Advice

～なぜこう訳すの？

逐語訳

② “happen”: 「(予期しないことが偶然) 起こる」という意味です。ここでは「何が起こったの?」と、遅くなった理由を聞いています。

⑤ そういったことは (予期せず偶然) 起こるものだから、心配しなくていいですよ、という意味です。

⑥ “could have + 過去分詞”: 「～することもできたのに (しなかった)。」過去に起こった事実に対して、事実と逆のことを想定した発言をする時に使います。

⑦ “I wanted to (call you).” の省略です。電話をかけようという気はあったと弁解しています。

⑩ ⑪ “should have + 過去分詞”: 「～するべきだったのに (しなかった)。」過去に起こった事実に対して事実と逆のことを想定した発言をする時に使います。

⑩ “fault”: 「(過失の) 責任」という意味です。「(遅れたのは) あなたの責任ではない」→「あなたのせいではない」。

⑫ “apologize to + 人”: 「(人)に 謝る、わびる」。

⑬ “have kept + 人 + ing”: 「人を～させ続ける」という意味です。相手を30分も待たせてしまったことを表現しています。

⑬ “for half an hour”: half は「半分」、hour は「1時間」ですから「1時間の半分」→「30分間」となります。

ジ: ①遅れてごめんなさい!

ケ: ②何が起こりましたか?

ジ: ③ああ、私は違う電車に乗りました。④本当にごめんなさい。

ケ: ⑤そういうことも起こります。⑥でも君は僕達に電話をかけることだってできました。

ジ: ⑦私はそうしなかったです、でも私は(電話) 番号を知らなかったんです。

ケ: ⑧ああ、ごめんなさい! ⑨僕は(電話) 番号を君に伝えておくべきでした。

ジ: ⑩それはあなたの責任ではないです。⑪私はもっと気をつけているべきでした。⑫いずれにせよ、私はあなた方みんなに謝らなくてはなりません。⑬私は30分間あなた方を待たせ続けました。

ケ: ⑭それは大丈夫です。⑮僕達はお互いにおしゃべりして楽しかったです。

ジ: ⑯私はそれを聞いてよかったです。

ケ: ⑰オーケー、じゃあ、始めましょう。

⑫ I have to apologize to all of you. ⑬ I have kept you waiting for half an hour.

(みんなにおわびを言わなくちゃ。三十分も待たせちゃって。)

☆ 人の謝罪に答える表現

人の謝罪に対してその理由を尋ねたい時:

② What happened? (どうしたの?)

謝罪を受け入れて相手を許す時:

⑤ That happens.

(そういうこともあるさ。)

⑩ It's not your fault.

(あなたのせいじゃないわ。)

⑭ That's all right.

(気にしないでいいよ。)

☆ 謝罪の気持ちを表すその他の表現

“should have + 過去分詞”

「～するべきだったのに (しなかった)」

⑨ I should have told you the number.

(電話番号を教えてあげとけばよかったね。)

→ 電話番号を覚えておかなかったことを謝罪しています。

⑪ Anyway, I should have been more careful.

(どっちにしても、私がもっと気をつけていればよかったんだから。)

→ 自分の注意が足らなかったことを謝罪しています。